

さあ 2 倍売るぞ！だれでもできる、売上づくり・・・《販促キャンペーン K I T》

手順に従ってやっていけば、自動的に自社のキャンペーン企画が出来上がります。

〔第 11 ステップ〕 キャンペーンの販促ツールを作りましょう チラシ編

さあよいよ販促キャンペーンの企画も最終ステップです。

ここまで

販促キャンペーンとは何かを学び
どんなキャンペーンをやるかを考え
キャンペーン商品を決め
ターゲットを考え
キャンペーン商品のウリを考え
さまざまな事例を見て参考にして
キャンペーンスケジュールを決め
売上げ、荒利、経費の予算を決め
担当、人員、情報共有を決め
売場、陳列、接客について考え
そして、どんな販促ツールを使うかを決めました

この第 11 ステップでは、ここまで決めてきた、商品とそのウリを、さまざまな販促ツールで表現します。

キャンペーン販促ツールは大きく分けて、 チラシ類 POP 広告類 その他に分けられます

まず チラシ類から作り方を説明しましょう

チラシを作る！

チラシ制作には 3 つの方法があります

企画も印刷もすべて業者に外注する

自店で企画（ワープロ又は手書き）し、印刷は外注する（ネット又は印刷所）

企画も印刷（コピー印刷機）もすべて自店で行う

ここでは、 の自店でワープロで企画デザインして、印刷はネット印刷か印刷所に外注するという例で説明します。

チラシ制作で大切なポイント

当然ですがまず第一に、「何を売りたいのか？」というキャンペーン商品に魅力があることです。

その上でチラシ制作で重要なポイントは 2 つあります。

人は文字より画像で判断するということ。つまり視覚に訴えるということです。

たとえばユニクロのチラシに、マクドナルドのチラシに、商品写真がなく、文字だけだったら・・・判りますよね？写真の大切さが。

タイトル、キャッチフレーズなどが決め手となります。第 4 ステップで決めた「ウリ」をうまく表現するため、字体や位置を工夫してチラシに入れます。感情に訴えると「30 倍売れる」とも言われます。表現がとても大切ということです。

写真撮影又は画像を準備します。

人は文字より絵（画像）をまず見ます。ですから商品の写真のほかにも、アイキャッチ（目をひきつける）としてイラストや写真を入れます。

店長やスタッフの写真を入れたりすると、さらに親しみやすいチラシになります。

写真はデジカメで撮影しましょう。アイキャッチ用のイラストや写真はインターネットで「無料画像」とか「無料イラスト」で検索すれば手に入ります。

いよいよチラシを作ります

〔1〕まずは紙にラフスケッチをします

いきなりパソコンで作り始めるよりも、まずはあれこれ考えながら紙にラフスケッチ（あら書き）していきます。鉛筆で書き込みながら消ゴムで訂正しながら進めましょう。

〔レイアウト 紙面の割付け〕

人がチラシを見る時は、まずパッと見た第一印象が決め手です。

どのコトバが、どの写真が目飛び込んで興味をそそるかがとても大事なのです。

コトバについては第4ステップの「-uri」で決めていますので、チラシではいかにそれを目立たせるかということになります。

ここでは例として、第5ステップ事例集の「レストランがハンバーグを売り込むキャンペーン」を取り上げ、そのチラシを作っていきます。

B4サイズのコピー用紙を用意してください。

次に用紙のまわりに1.0～1.5cmくらいの余白をとっておきましょう。

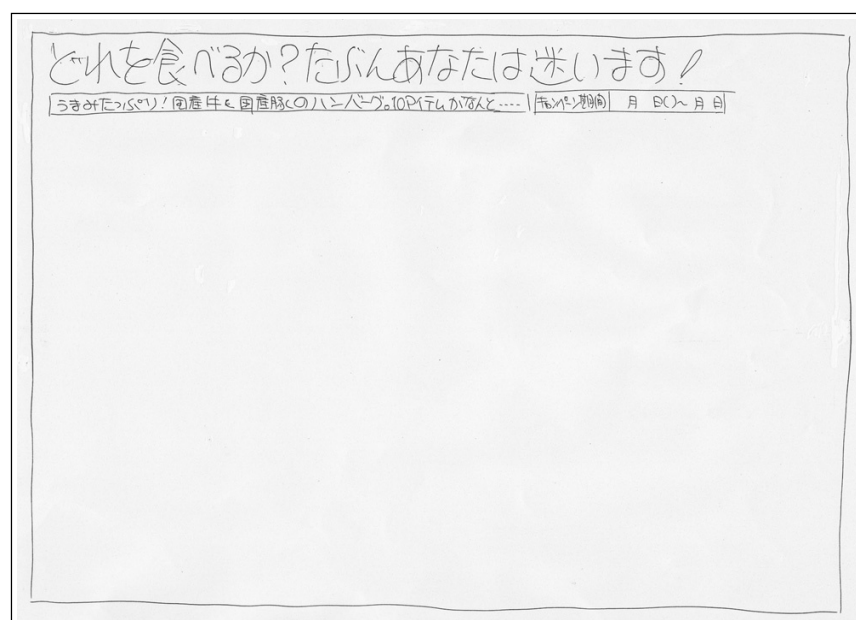
用紙いっぱいを使うと見にくいチラシになるので、鉛筆で枠を書いておきます。

人の目は上から下へ、左から右へと動きますので、

上の方から、タイトル、キャッチフレーズ、一番メインの商品を配置していきます。

タイトル、キャッチフレーズを左上から配置します。エンピツで書き込んでいきます。

右端は店名などが入りますので少し空けておきます。



〔2〕ラフスケッチができれば、それをもとにして、パソコンで作ります

ひとつおりの紙にラフスケッチができれば、それを見ながらパソコン（ワープロ）でチラシを作っていきます。

チラシ制作にはワープロソフトのワードがよく使われます。エクセルで作る人も多いです。

〔ワードでの場合を説明していきましょう〕 ワード 2003 バージョンです

ワードを立ち上げます 「ファイル」の「ページ設定」を開きます
 「用紙」タブで「B4」を選びます。そして、「余白」タブで上・下、左・右を各 15mm にして、印刷向きを「ヨコ」にしてOK をおします。
 この段階で画面に B4 サイズヨコのチラシ画像（白）が出ます

ラフスケッチを見ながら、だいたいのサイズを測りながら、テキストボックスを使って文字を打っていきます。

- ・写真の入る部分には適当な大きさの四角形を配置しておきます（写真はあとでまとめて挿入します）
- ・文字の色はとりあえずすべて黒にします（あとで全体を見ながら色をつけます）
- ・ナナメのタイトル部分はワードアートを使います
 ラフスケッチの通りにいなくてもかまいません。少しずつ調整しましょう。
 実際は写真の大きさや形が異なるので、ぴったりラフスケッチの通りにはいきません。

すべて文字の入力が終わったら写真を挿入します

- ・挿入タブの「図」の「ファイル」から画像の入っているフォルダへ移動して写真を選んで挿入します

写真を挿入したら、文字とのバランスをとりながら写真の大きさや位置を修正します。

文字やカコミの中の色を変えます（白黒印刷、単色印刷の場合はすべて白黒にしておきます）

全体のバランスをみながら写真、文字などの配置すべてを調整します

これでチラシは
仕上がりです

(ラフスケッチと
比べて見て
ください)

ここから先は、外注する印刷所によりデータなどの入稿方式が異なりますので、印刷所の方式をご確認ください。
 インターネットで「ネット印刷」で検索すると激安印刷会社が見つかります
 自店でコピー印刷する場合は今作ったものが版下になります（白黒）

このキットとあわせて、拙書「販促キャンペーン実践法」(同文館出版)も、ぜひご参考に！ アマゾン、または書店で。